

新たな食料・農業・農村基本計画の構成等について（案）

I. 章立てについて

新たな基本計画は、基本法において「基本的な方針」「食料自給率の目標」「講ずべき施策」「その他必要な事項」の4項目が計画事項として規定されていることから、現行基本計画と同様、これに即した構成とすることが適当ではないか。

※ 食料・農業・農村基本法第15条において、基本計画において定めるべき事項等について、以下のとおり規定。

- ・ 食料、農業及び農村に関する施策についての基本的な方針
- ・ 食料自給率の目標
- ・ 食料、農業及び農村に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策
- ・ 上記のほか、食料、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

II. 具体的な構成について

第1 食料、農業及び農村に関する施策についての基本的な方針

1. 食料・農業・農村をめぐる情勢と施策の評価

企画部会における検証作業等を踏まえつつ、例えば、高齢化や人口減少による影響、農業の構造改革、消費者と食をめぐる課題、世界の食料需給、農業・農村の新たな動きと多様な可能性、東日本大震災からの復旧・復興といった視点から、食料・農業・農村をめぐる現行計画策定後の情勢変化や今後の中長期的な見通し、施策の評価について記述してはどうか。その際、食料・農業・農村は大きな転換点にあることについての共通認識を得られるよう留意すべきではないか。

2. 農政改革の基本的な視点

これまでの施策展開の前提としていた食料・農業・農村の実態等が変化しつつあることから、

- ・ 基本法に掲げる基本理念の実現に向けて、関係者の発想の転換や新

分野への積極的なチャレンジ、従来の仕組みや手法の変革が必要との観点に立ち、農政改革を進めていく必要があること

- ・ その際、例えば、政策の方向の安定性の確保、需要や消費者視点に立脚した施策展開、担い手が活躍できる環境整備、資源の維持・継承の促進、技術革新の促進、農業・農村の所得倍増を目指した施策展開といった視点から農政改革を進めることについて記述してはどうか。

第2 食料自給率の目標

基本的な考え方、食料自給率目標、食料自給率向上に向けた取組等について記述してはどうか。さらに食料自給力指標について記述してはどうか。

第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

今後講ずべき施策の内容について、これまでの企画部会での検討や、基本法の構成を踏まえ、以下の項目を基本として施策の方向性が明確になるように記述してはどうか。

1. 食料の安定供給の確保に関する施策

(1) 食品の安全と消費者の信頼の確保

- 食品の安全確保
- 食品に対する消費者の信頼の確保

(2) 食育の推進と国産農産物の消費拡大

- 消費者の多様なニーズ・特性に対応した食育、消費拡大
- 伝統的な食文化の次世代への保護・継承

(3) 生産・加工・流通過程を通じた新たな価値の創出

- 6次産業化等の戦略的推進
- 食品産業の更なる成長産業化
- 知的財産の戦略的な創造・活用・保護

(4) 世界の食市場を取り込む農林水産物・食品の輸出促進

- オールジャパンでの輸出体制の整備
- 輸出環境の整備

- 輸出促進等のための日本食文化の海外展開
- (5) 総合的な食料安全保障の確立
- 食料供給に係るリスクの定期的な検証等
 - 海外や国内におけるリスクへの対応
- (6) 国際交渉への対応

2. 農業の持続的な発展に関する施策

- (1) 担い手の育成・確保
- 法人化、経営の多角化等を通じた経営発展の促進
 - 新規就農や経営継承、企業の農業参入の促進
 - 女性の活躍推進
- (2) 力強い農業構造の実現に向けた担い手への農地集積・集約化と農地の確保
- 担い手への農地集積・集約化
 - 耕作放棄地の発生防止・解消等
 - 農地転用許可制度の適切な運用
- (3) 担い手に対する経営安定対策の推進
- 担い手を対象とした経営所得安定対策の着実な推進
 - 経営の新たなセーフティネットとしての収入保険制度等のあり方の検討
- (4) 構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備の推進
- 力強い農業を支える農業生産基盤整備の推進
 - 老朽化等に対応した農業水利施設の持続的な保全・管理
 - 強靱な農村づくりに向けた防災・減災対策の推進
 - 農業構造、農村の変化等を踏まえた土地改良制度の検証・検討
- (5) 需要構造等の変化に対応した生産・供給体制の改革
- 米政策改革の着実な推進、飼料用米等の戦略作物の生産拡大
 - 畜産クラスター構築等による畜産・酪農の競争力の強化
 - 園芸作物、有機農産物、薬用作物等の供給力の強化
- (6) 農業の生産・流通現場の技術革新等の実現
- 戦略的な技術開発と技術移転の加速化
 - 生産・流通システムの革新
 - 効果的な農作業安全対策の推進
- (7) 総合的な環境政策の推進

- 気候変動に対する緩和・適応策の推進
- 生物多様性保全・利用の推進
- 農業の自然循環機能の維持増進とコミュニケーションの促進

3. 農村の振興に関する施策

- (1) 多様な分野における地域資源の積極的活用による雇用と所得の創出
 - 地域資源を活かした農業と周辺産業の活性化
 - 地域の農産物等を活かした新たな価値の創出
 - バイオマスを基軸とする新たな産業の振興
 - 農村における再生可能エネルギーの生産・利用の推進
- (2) 地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持・管理等
 - 「集約とネットワーク化」による集落機能の維持等
 - 多面的機能支払制度の着実な推進
 - 中山間地域等直接支払制度の推進
 - 深刻化・広域化する鳥獣被害への対応
- (3) 都市と農村のつながりの強化
 - 観光・教育・福祉などと連携した都市農村交流の促進
 - 都市から農村への移住・定住の促進
 - 多様な役割を果たす都市農業の振興

4. 東日本大震災からの復旧・復興に関する施策

- 地震・津波災害からの復旧・復興
- 原子力災害からの復旧・復興

5. 団体の再編整備等に関する施策

- 農業協同組合系統組織
- 農業委員会系統組織
- 農業共済団体
- 土地改良区

第4 施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

効果的・効率的な施策の推進や国民視点に立った政策の決定、施策の進捗管理と政策評価の活用、財政措置の効率的かつ重点的な運用など、農政改革を進めていく上での留意事項について記述してはどうか。

Ⅲ. 新たな食料・農業・農村基本計画と併せて提示する展望等について

過去の基本計画策定時に併せて提示した展望等や、これまでの企画部会における検討を踏まえ、以下の展望等を提示してはどうか。

- 農業構造の展望
- 農地面積の見通し
- 「農業・農村の所得倍増」に向けての対応方向
- 経営展望
- 活力ある農山漁村づくりに向けてのビジョン
- 農林水産研究基本計画